

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

I 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
取得価格によっている。
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法によっている。
- (3)固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (4)消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券・国債	99,889,849	0	0	99,889,849
基本財産定期預金	110,151	0	0	110,151
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
青少年スポーツ振興基金	19,461,394	0	0	19,461,394
自主事業調整積立金	15,510,343	812	0	15,511,155
小計	34,971,737	812	0	34,972,549
合計	134,971,737	812	0	134,972,549

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	99,889,849	99,889,849	0	0
基本財産定期預金	110,151	110,151	0	0
小計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
青少年スポーツ振興基金	19,461,394	0	19,461,394	0
自主事業調整積立金	15,511,155	0	15,511,155	0
小計	34,972,549	0	34,972,549	0
合計	134,972,549	100,000,000	34,972,549	0

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	2,808,398	2,089,498	718,900
什器備品	4,286,957	3,464,783	822,174
ソフトウェア	1,598,850	1,598,850	0
合計	8,694,205	7,153,131	1,541,074

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし。

7. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当なし。

8. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	時価	評価損益
基本財産 国債	99,889,849	122,050,000	22,160,151
特定資産 国債	5,000,000	5,058,500	58,500
合計	104,889,849	127,108,500	22,218,651

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
全国青年大会 事業費補助金	大野城市	0	802,414	802,414	0	残高なし
地方体育助成金	(公財)福岡県体育協会	0	373,181	373,181	0	流動負債

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし。

11. 関連当事者との取引の内容
ユニフォーム、施設関連備品の購入に関する取引。

12. 重要な後発事象
該当なし。

II 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細
該当なし。